

第60回 日本身体障害者福祉大会 みやざき大会

鹿 県 身 障

かんぎ 成 立

差別解消法 本格施行へ 議論高まる

「障害者差別解消法の理解啓発を図ろう」、「日身連ならびに加盟団体組織体制の強化を図ろう」という大会スローガンのもと、第60回日本身体障害者福祉大会が平成27年5月25、26日の両日、宮崎県シーガイアで開催されました。



式典であいさつする矢野光孝宮崎県身障連合会会長
～シーガイアコンベンションセンター～

発行所

社会福祉法人
鹿 児 島 県

身体障害者福祉協会

鹿児島市小野一丁目1-1
ハートピアかごしま3階
電話099-228-6271

発行人 佐藤彰矩
かんぎ 第146号

本県からは、佐藤彰矩協会会長をはじめ計48名が参加。湧水町の手塚盛幸氏が日身連会長表彰を受賞しました。

○日身連評議員会および講演・政策協議

本大会に先立ち、25日には日身連平成27年度第1回定例評議員会、講演・政策協議がありました。

評議員会では日身連の平成26年度事業報告と決算、今年度の事業計画と予算が示され、いずれも承認されました。

午後からの基調講演は、内閣府の小田亜由子氏から「障害者差別解消法と基本方針について」と題して、差別解消法制度の背景や基本的な考え方について、障害者差別解消法に関する経緯、概要、基本方針の概要、差別解消法の内容などの講演がありました。

引き続き、「障害者差別解消法の円滑な施行を目指すために障害者差別禁止条例作りと障害者団体の役割」を

テーマに、元障がい者制度改革推進会議構成員や当事者団体などから4人のシンピジストが、それぞれの立場から障害者差別解消法への想いや意見を述べ、コメントーターとして参加した前障害者制度改革担当室長の東俊裕氏、コーディネーターの松井日身連副会長とともに、障害のある人に対する差別をなくし共生社会を目指す条例の制定の促進、差別解消法で不足していることを条例で補う必要や、障害者自身が条例の素案作成に積極的に参加することが大切であることなど、障害者団体からみた差別解消法に対する活発な討論が行われました。

井日身連副会長とともに、障害のある人に対する差別をなくし共生社会を目指す条例の制定の促進、差別解消法で不足していることを条例で補う必要や、障害者自身が条例の素案作成に積極的に参加することが大切であることなど、障害者団体からみた差別解消法に対する活発な討論が行われました。

○日本身体障害者福祉大会

第1部の式典では、国歌斉唱、黙祷につづき開催県を代表して宮崎県身障連合会の矢野光孝会長のあいさつが行われ、続いて、嵐谷安雄大会会長のあいさつ、宮崎県知事と宮崎市長の歓迎のあいさつ、厚生労働大臣（代理）の来賓あいさつに続き、表彰が行われ、身体障害者福祉の向上に寄与された功績をたたえて、本県の手塚盛幸氏（湧水町）を含めた全国51名の方々に日身連会長表彰が授与されました。

第2部は議事で、日身連の平成26年度事業報告と平成27年度事業計画を森事務局長と嵐谷会長が説明し、会場の承認を得ました。政策協議報告に続き、大会宣言、大会決議が読み上げられると満場の拍手で採択され、議事は終了しました。

続いて、アトラクションとして「高千穂の夜神楽」が披露されたのち、日身連の会長交代（6月1日付け）があったことによる新会長松井逸朗氏（岐阜県身体障害者福祉協会会長）の紹介、また、来年の5月11日に開催される第61回大会京都大会が紹介されました。

最後に、日身連の阿部副会長の音頭による「がんばろう三唱」で、大会は全ての日程を終了しました。

大会決議

- 一、障害者権利条約にふさわしい施策を実現させよう
- 一、すべての自治体に障害者差別をなくすための条例を制定させよう
- 一、バリアフリー施策を一層充実させよう
- 一、国連障害者権利委員会へ日本から委員をおくりだそう
- 一、東日本大震災被災地の復興を着実に実行させよう

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金会の配分金を充当させていただきます。

平成26年度決算 資金収支内訳表

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

第1号の3様式
(単位:円)

勘定科目		法人本部	交流センター	情報センター	合計	内部取引消去	拠点区分合計
事業活動による収支	収入						
	会費収入	830,000			830,000		830,000
	経常経費寄付金収入	50,000		30,000	80,000		80,000
	経常経費補助金収入	28,056,000			28,056,000		28,056,000
	受託金収入	23,277,375	49,892,000	54,500,000	127,669,375		127,669,375
	事業収入	3,261,437	8,900,875	2,662,739	14,825,051	-245,645	14,579,406
	受取利息配当金収入	39,644		2,079	41,723		41,723
	自動販売機手数料収入	830,196			830,196		830,196
	その他の収入	405,682			405,682		405,682
	事業活動収入計(1)	56,750,334	58,792,875	57,194,818	172,738,027	-245,645	172,492,382
支出	人件費支出	34,927,028	45,377,508	40,335,389	120,639,925		120,639,925
	事業費支出	21,933,394	11,405,982	10,488,899	43,828,275	-245,645	43,582,630
	事務費支出	871,202	181,430	4,620,302	5,672,934		5,672,934
	助成金支出	200,000		80,800	280,800		280,800
	負担金支出	10,000			10,000		10,000
	支払利息支出	102			102		102
	事業活動支出計(2)	57,941,726	56,964,920	55,525,390	170,432,036	-245,645	170,186,391
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-1,191,392	1,827,955	1,669,428	2,305,991		2,305,991
	収入						
	固定資産売却収入	1,000,000			1,000,000		1,000,000
施設整備等収入計(4)	1,000,000			1,000,000		1,000,000	
支出	施設整備等支出計(5)						
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	1,000,000			1,000,000		1,000,000
その他の活動による収支	収入						
	投資有価証券売却収入	4,000,000			4,000,000		4,000,000
	積立資産取崩収入		2,931,760		2,931,760		2,931,760
	拠点区分間繰入金収入	894,875			894,875		894,875
	サービス区分間繰入金収入	300,000			300,000	-300,000	
	その他の活動による収入	9,408			9,408		9,408
	その他の活動収入計(7)	5,204,283	2,931,760		8,136,043	-300,000	7,836,043
	支出						
	積立資産支出	4,640,440	3,864,840		8,505,280		8,505,280
	拠点区分間繰入金支出		894,875		894,875		894,875
サービス区分間繰入金支出	300,000			300,000	-300,000		
その他の活動支出計(8)	4,940,440	4,759,715		9,700,155	-300,000	9,400,155	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	263,843	-1,827,955		-1,564,112		-1,564,112	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	72,451		1,669,428	1,741,879		1,741,879	
前期末支払資金残高(11)	11,443,771		3,003,652	14,447,423		14,447,423	
当期末支払資金残高(10)+(11)	11,516,222		4,673,080	16,189,302		16,189,302	

消去レベル：拠点区分間→「センター管理事業」等：サービス区分間取引消去
「内部取引消去」：拠点区分間消去

平成27年度予算 資金収支内訳表

平成27年4月1日

(単位:円)

勘定科目		法人本部	交流センター	情報センター	合計
事業活動による収支	収入				
	会費収入	570,000			570,000
	経常経費寄付金収入	50,000			50,000
	経常経費補助金収入	28,095,000			28,095,000
	受託金収入	25,999,000	49,971,000	54,270,000	130,240,000
	事業収入	4,400,000	8,006,000	1,051,000	13,457,000
	受取利息配当金収入	35,000			35,000
	自動販売機手数料収入	800,000			800,000
	事業活動収入計(1)	59,949,000	57,977,000	55,321,000	173,247,000
	支出	人件費支出	34,047,000	47,832,000	40,450,000
事業費支出		25,462,000	11,437,000	10,661,000	47,560,000
事務費支出		1,192,000	250,000	868,000	2,310,000
助成金支出		250,000			250,000
負担金支出		470,000			470,000
支払利息支出		1,000			1,000
事業活動支出計(2)		61,422,000	59,519,000	51,979,000	172,920,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-1,473,000	-1,542,000	3,342,000	327,000
収入					
施設整備等収入計(4)					
支出					
固定資産取得支出			18,730,000	18,730,000	
施設整備等収入計(5)			18,730,000	18,730,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			-18,730,000	-18,730,000	
その他の活動による収支	収入				
	投資有価証券償還収入	1,000,000			1,000,000
	積立資産取崩収入	1,000,000	2,344,000		3,344,000
	サービス区分間繰入金収入	100,000			100,000
	施設整備等支出計(5)				
	その他の活動収入計(7)	2,100,000	2,344,000		4,444,000
	支出				
	投資有価証券取得支出	2,000,000			2,000,000
	積立資産支出	2,740,000	802,000		3,542,000
	サービス区分間繰入金支出	150,000			150,000
その他の活動支出計(8)	4,890,000	802,000		5,692,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,790,000	1,542,000		-1,248,000	
予備費支出(10)	2,530,000			2,530,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-6,793,000		-15,388,000	-22,181,000	
前期末支払資金残高(12)	10,880,000		4,333,000	15,213,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	4,087,000		-11,055,000	-6,968,000	



選手宣誓をする鹿児島高等特別支援学校の日高朝美選手

県障スポ 五月晴れの中開催 Ⅱ全国大会個人競技県代表が決定Ⅱ

5月10日、五月晴れの中、第9回鹿児島県障害者スポーツ大会が開催され、1026名のアスリートが6競技で日頃のトレーニングの成果を競いました。

開・閉会式と陸上競技は、従来使用していた鴨池陸上競技場がインフィールドの改修で使用できなかつたため、このほど改修を終え、8レーンの走路を持つ全天候型グラウンドに生まれ変わった鴨池補助競技場でありました。

いつものメイン競技場と異なり、雨や灰、日射を遮る屋根や

中山にある鹿児島県立サッカー・ラグビー場、水泳・卓球・アーチェリーはハートピアかごしま、ボウリングはサンライトゾーンと、陸上競技以外は複数会場に分散して実施。それぞれの会場から熱戦の報が届きました。

大会企画委員会では、これらの結果を精査し、全国障害者スポーツ大会へ参加する候補選手を選出、6月には本県代表の個人競技36名が決定しました。

今年の全国大会は10月24日～26日の日程で、和歌山県で開催されます。

本県グラウンドソフトが代表奪還

全国障害者スポーツ大会団体競技九州ブロック予選

全国障害者スポーツ大会和歌山大会の団体種目の九州地区代表を決めるブロック予選が、4月から5月、九州各地で行われました。7競技(12種目)のうち、本県は5競技(5種目)に代表チームを派遣しました。

このうち、宮崎県で開催されたグラウンドソフトボール(視覚障害)では、2年振りの全国大会を目指す本県チームが躍進。

準決勝では昨年の全国大会覇者である福岡県を逆転で退け、決

勝でも熊本県との接戦を制し、見事な優勝で九州代表の座を奪還しました。

一方、3チームのリーグ戦となったサッカー(知的障害)は準優勝、車椅子バスケットボールは3位と、健闘したものの全国大会へ駒を進めることができませんでした。

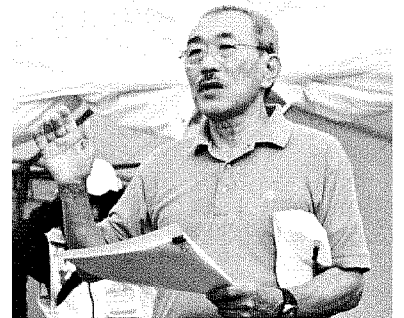
バレーボール(精神障害)と、初参加となったバスケットボール(知的障害男子)は九州の厚い壁にはね返される結果となりました。

第15回全国障害者スポーツ大会鹿児島県選手団 個人競技選手一覧

No.	競 技	氏 名	性 別	障 害 区 分	所 属	No.	競 技	氏 名	性 別	障 害 区 分	所 属
1	陸上競技	村上達朗	男	肢体18	ゆずの里	19	水 泳	森山博勝	男	肢体7	大島地区
2	陸上競技	松田正人	男	視覚25	鹿児島市	20	水 泳	池上寛朗	男	知障28	北薩地区
3	陸上競技	川路昭男	男	肢体13	出水市	21	水 泳	花山理沙	女	知障28	障害福祉サービス事業所 あじさい園
4	陸上競技	里島光一郎	男	肢体21	奄美市	22	卓 球	尾崎友直	男	肢体1	鹿児島市
5	陸上競技	福岡克也	男	聴覚27	霧島市	23	卓 球	大田勉	男	肢体4	霧島市
6	陸上競技	島廻麗子	女	視覚24	鹿児島盲学校	24	卓 球	坂本博信	男	視覚15	鹿児島市
7	陸上競技	山下愛加	女	肢体23	鹿児島養護学校	25	卓 球	高田宗俊	男	知障28	障害者就労支援センターみらい
8	陸上競技	迫田栄子	女	肢体8	南さつま市	26	卓 球	木下美鈴	女	知障28	県立鹿児島養護学校
9	陸上競技	坂田瀬菜	女	聴覚27	薩摩川内市	27	フライングディスク	池田輝	男	聴 覚	鹿児島市
10	陸上競技	西村幸翼	男	知障28	鹿児島高等特別支援学校	28	フライングディスク	種子田千博	男	聴 覚	霧島市
11	陸上競技	松山龍太	男	知障28	カルビー	29	フライングディスク	池田チツ子	女	肢 体	鹿児島市
12	陸上競技	西山嘉一	男	知障28	障害者支援施設認知障害育成園	30	フライングディスク	竹之内せい子	女	視 覚	南さつま市
13	陸上競技	吉野数浩	男	知障28	生活支援センターほっと	31	フライングディスク	小林竜也	男	知 障	障害者支援施設ゆかり学園
14	陸上競技	淵上誠	男	知障28	ワークプラザひまわりの家	32	フライングディスク	小原淳	男	知 障	社会福祉法人ハイビスカス福祉会
15	陸上競技	小城淑樹	男	知障28	希望の星学園	33	フライングディスク	橋口智子	女	知 障	就労継続支援センターいぶき
16	陸上競技	橋口沙紀	女	知障28	県立串木野養護学校	34	フライングディスク	吉永かおり	女	知 障	ワークランド愛生
17	陸上競技	沖浦雄子	女	知障28	障害者自立支援センターいひ	35	ボウリング	湯之上聡	男	知障28	曾於市
18	水 泳	牧角壮一郎	男	肢体2	鹿児島市	36	ボウリング	小林岳弘	男	知障28	社会福祉法人天上会 照葉の森

私と 障害者スポーツ

全国障害者スポーツ大会
前総監督 増田 久



ミーティングで指示を出す増田先生
(H22千葉大会)

平成13年、身体障害者と知的障害者の大会が、全国障害者スポーツ大会として統合され、今年で15回目を迎えます。大会統合の前から総監督等の役員として、永きにわたり本県選手団の指導に当たられた増田久先生が、今般、この大役から退かれることになりました。そこで、先生の障害者スポーツとの関わりなど、これまでの思い出を綴っていただきました。

★特別支援学校県立串木野養護学校への赴任

昭和58年4月、30年間勤務していた公立高校から県立串木野養護学校へ赴任しました。学校は広大な敷地の中に小学部・中学部・高等部の校舎と広場に広いグラウンド、寄宿舎、農場、ミカン畑ありで広大な敷地の中に3学部300名の児童生徒と170名の職員、児童生徒数の割には職員数が多いのに驚き、生徒にどう接していいのか戸惑っていました。1学級7名の生徒を2名の教師で担当します。教科は国語、算数、体育、理科と社会は統合

学習として学校行事、季節の関連で必要に応じて学習しました。一番力を入れていたのが農作業など体験的な学習で、大いに力を注いだものです。

忘れられないことがひとつあります。能力の高い女子生徒に、同じ失敗を何回も繰り返すので、「解らんもんじゃ」と注意したところ、「解らんからこの学校に来た」と言われ、はっと我に返り、大変なショックを感じました。串木野養護学校での9年間は生徒に教えるのではなく教えられることの方が多く勉強になり、私の障害者スポーツに携わるようになった原点でもあります。

★知的障害者の個人競技種目への取り組み

学校では、県障害者スポーツ大会に日置地区から少年の部に出場させるため、練習時間の確保と練習場の整備に学部を挙げて取り組みました。クロスカン トリーコースづくりでは、高等部職員を放課後3週間動員して23段のコンクリート階段が完成。保護者の方が出来上がりを見て業者が作ったものと勘違いされるほどでした。

県内の特別支援学校の登下校は、スクールバスを利用している一斉下校です。放課後の余暇活動はできません。そこで、朝のショートホーム終了後、高等部生はグラウンドに集合。クロスカントリーコースを含む一周1000mのコースを30分間走る持久走を月、火、木、金の4回、水曜日はリズム体操で、体力づくりに

はリズム体操で、体力づくりに高等部全生徒、職員が取組みました。結果、多くの生徒が、5月の県ゆうあいスポーツ大会、10月の全国大会で活躍。特に800m、1500mに出場した選手は大会記録を出すなど好成績を残しました。



全国大会結団式で県シンボルマーク旗を受けとる増田先生 (H24岐阜大会)

への取り組みを継続しました。近年では、障害のある人自身が、就職し、日常生活の中にスポーツ活動を取り入れる例も随分増えてきました。

一般企業に就職したR・K君は、地域の陸上競技クラブに所属して、クラブのない休日も鴨池陸上競技場に自分一人であって練習に取り組んでいます。

しかし、ここまで自立した日常生活が出来るようになるまでに会社、同僚の理解、両親の支援などいろいろなハードルを乗り越えてきた経緯があります。グループホームの入所者は、そのほとんどがスポーツを続けることが困難です。素質のある方がスポーツ大会と離れている現状に対し、何とか支援できる方法はないものかと苦慮しています。

また、知的障害者は何をしても本人からは思うように話が出来ないし、家族や周囲の理解と支援が必要です。

★身体障害者の方とのかかわり

私と身体障害のある方とのかかわりは、昭和47年鹿児島国体開催後、大学の恩師から陸上競技の審判員を要請されたからです。その前は生まれ育った実家（現伊佐市）の近くに全盲の方が（現伊佐市）の近くに全盲の方が住んでおられて、薩摩琵琶の演奏、メジロかご作り、柱時計の修理などされていました。薩摩琵琶の演奏は、地元だけでなく、現在の日置市まで出かけることもありました。その頃は障害者という名称はなかったし、山野線、日豊線、鹿児島本線、南薩鉄道と4回も乗り換えて行動されるので障害のない人とは見えていませんでした。

身体障害者が対象の全国身体障害者スポーツ大会と、知的障害者が対象の全国ゆうあい大会は、平成13年度から合併し全国障害者スポーツ大会として開催されるようになり、身障の方と一緒に行動することになりました。その中で、車いすの体験と盲導犬の行動は、貴重な出来事となりました。

まず、車いすの体験は、平成

鹿 鹿 鹿 身 障 障

15年の第3回静岡大会でした。メイン会場は、ジュビロ磐田のホームグラウンドで陸上競技場を兼ねた素晴らしい競技場でした。大会1日目の午前3時、右足くるぶしの痛みで目が覚め、選手を自覚めさせないようにごそごとと這って廊下で見たら、真っ赤に腫れていてびっくりにホテルの人を起し、氷をポリバケツ一杯もらい足首をつけ込んで冷やしました。痛みは少し和らいだが腫れがひどくシューズを履けませんでした。当日は午前中が開会式、午後からは競技開始という日程。会場まで皆さんに支えられて鹿児島県の控えテントについて救急班に連絡しました。痛風専門医を紹介してもらい3キロ離れた袋井駅前の病院へ借りた車いすに乗って治療に行くことになりました。ところが、控えテントからタクシー乗り場まで40mが平坦でなく、その往復で両腕を酷使することになり、その影響で翌朝は両腕を使わず手で顔が洗えませんでした。普段車いすの人は、いとも簡単に操作されているので、これほど大変な事だとは思いませんでした。

ある選手に帯同してきた盲導犬が県選手の控えテントで待機しているのですが、朝から晩まで見ていても、一度も鳴き声をあげないので、トイレはどうしているのか、食事はなど私自身が犬、猫好きで飼っているのが気になってしょうがありません。盲導犬は住む環境の中で、自分が一位、自分が二位と、自分の順位を決めて行動しているのでしょうか。

大会期間中、テントの中で主人が競技されている時は両手の前に出し、その上に顔をのせた姿勢で2時間でも3時間でも待っています。そして、主人が20m以内に来られると、尻尾をはち切れんばかりに振りながら出迎えます。

盲導犬の適種犬として選ばれているゴールデンレトリバーは種は頭がよくて素晴らしいです。調教(訓練)は教育と考えたとき自分の子供をこのように教育したかった、と無理な事を考えてしまうほど、従順で我慢強い盲導犬を尊敬の念を持ってみえます。

大会期間中の朝5時、旅館で盲導犬と散歩をされていた視覚障害の選手に声をかけたら「トイレと食事の日課ですよ」と答えが返ってきました。ブラッ



陸上競技の選手・スタッフと (H24 岐阜大会) 中央付近に増田先生

第15回全国障害者スポーツ大会鹿児島県選手団 団体競技(グラウンドソフトボール)選手・役員一覧

No.	競技・役職	氏名	性別	所属・勤務先
1	監督兼選手	木村 彰彦	男	三船病院
2	コーチ	桑原 憲一	男	
3	コーチ	内山 瑞典	男	県立鹿児島盲学校
4	コーチ	宇都 康峰	男	県立鹿児島盲学校
5	マネージャー	上野 未津紀	女	鹿児島高等学校
6	選手	向江 成年	男	
7	選手	石井 昭雄	男	
8	選手(部長)	神田 裕透	男	介護老人保健施設西千石
9	選手	西村 哲也	男	
10	選手	愛甲 英雄	男	県立鹿児島盲学校
11	選手	岩崎 浩	男	鹿児島徳州会病院
12	選手	藤崎 強	男	大井病院
13	選手	南 明志	男	NPC 法人鹿児島市視覚障害者協会
14	選手	中野 正人	男	亀澤整形外科
15	選手	中村 瑞穂	男	木村村外科
16	選手(主将)	愛甲 龍輔	男	内宮環内科
17	選手	久保 一美	男	
18	選手	福里 勇太	男	青雲病院

資料 全国障害者スポーツ大会のあゆみ

○全国身体障害者スポーツ大会(身体障害者対象)

回	開催年	開催地	回	開催年	開催地	回	開催年	開催地
1	昭和40年	岐阜県	13	昭和52年	青森県	25	平成1年	北海道
2	昭和41年	大分県	14	昭和53年	長崎県	26	平成2年	福岡県
3	昭和42年	埼玉県	15	昭和54年	新潟県	27	平成3年	石川県
4	昭和43年	福井県	16	昭和55年	栃木県	28	平成4年	山形県
5	昭和44年	長崎県	17	昭和56年	滋賀県	29	平成5年	徳島県
6	昭和45年	岩手県	18	昭和57年	島根県	30	平成6年	愛知県
7	昭和46年	和歌山県	19	昭和58年	群馬県	31	平成7年	福島県
8	昭和47年	鹿児島県	20	昭和59年	奈良県	32	平成8年	広島県
9	昭和48年	千葉県	21	昭和60年	鳥取県	33	平成9年	大阪府
10	昭和49年	茨城県	22	昭和61年	山梨県	34	平成10年	神奈川県
11	昭和50年	三重県	23	昭和62年	沖縄県	35	平成11年	熊本県
12	昭和51年	佐賀県	24	昭和63年	京都府	36	平成12年	富山県

※兵庫大会は震災のため中止

○全国知的障害者スポーツ大会(知的障害者対象：愛称ゆうあいピック)

回	開催年	開催地	回	開催年	開催地	回	開催年	開催地
1	平成4年	東京都	4	平成7年	兵庫県	7	平成10年	茨城県
2	平成5年	熊本県	5	平成8年	北海道	8	平成11年	島根県
3	平成6年	群馬県	6	平成9年	愛知県	9	平成12年	岐阜県

○全国障害者スポーツ大会(身体・知的・精神障害者対象)

回	開催年	開催地	回	開催年	開催地	回	開催年	開催地
1	平成13年	宮城県	8	平成20年	大分県	15	平成27年	和歌山県
2	平成14年	高知県	9	平成21年	新潟県	16	平成28年	若手県
3	平成15年	静岡県	10	平成22年	千葉県	17	平成29年	愛媛県
4	平成16年	埼玉県	11	平成23年	山口県	18	平成30年	福井県
5	平成17年	岡山県	12	平成24年	岐阜県	19	平成31年	茨城県
6	平成18年	兵庫県	13	平成25年	東京都	20	平成32年	鹿児島県
7	平成19年	秋田県	14	平成26年	長崎県			

※精神障害はH20から対象

★最後に
平成32年には本県で国体、そして全国障害者スポーツ大会が開催されます。

競技に使用する施設の選定や改修がこれから本格的に始まり

ます。今後は、総監督などの役職で全国障害者スポーツ大会に関わった経験を活かし、本県開催に向けて何らかのお手伝いができるばと考えております。

養護学校8年、施設3年、育

た。感謝を申し上げます。

成会12年の23年間、障害のある人々と関わり、勉強させて頂きました。30年間の普通高校より、その後の23年間の方が教えられたことが多く、勉強になりました。

第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会 出展作品募集はじまる

今年11月27日(金)～29日(日)、鹿児島市のかごしま県民交流センターにおいて、第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会が開かれます。

この大会は、障害のある人の芸術や文化活動への参加を通じて、障害のある人の自立と社会的促進に寄与することを目的として、平成13年度から毎年、全国持ち回りで開催されています。

かごしま大会では、「障害のある人もない人もみんなで楽しみ、交流でつなぐアートの輪！」をコンセプトとして、美術・文芸作品の展示、音楽、ダンスなどのステージイベント、バリアフリー映画祭など、多彩なイベントが予定されています。

このほか、平成27年度鹿児島県保健福祉大会も11月27日(金)に同会場で行われることが決まっております。文化祭と連動した盛り上がりが期待されます。「ふれ愛・アートフェスタかごしま」という大会愛称も決定し、8月20日からは出展作品の募集がはじまります。文化祭に関する詳細は、ホームページでご確認ください。 http://kagoshima-15geibunsaai.jp/about/

鹿児島障害者職業能力開発校 平成28年度訓練生募集

障害のある人の適正に応じた職種について、時代のニーズに添えられる知識・技能を習得できる職業訓練が受けられます。

普通課程は情報電子科、デザイン製版科、建築設計科、義肢福祉用具科、OA事務科。短期課程は、アパレル科、造形実務科があり、以下の募集日程で受け付けます。

▽募集日程(新卒のみ)

受付期間：8月17日～9月11日、選考日：10月2日、合格発表：10月6日

▽募集日程(一般・新卒)

受付期間：10月5日～11月13日、選考日：12月3日、合格発表：12月18日

▽選考場所と選考方法

選考は、開発校のほか大隅、熊毛、大島、沖繩の各地区。選考方法は筆記試験(国語、数学)と面接。

▽応募手続き

応募手続きに必要な書類は、開発校、もしくは居住地を管轄するハローワークで入手でき、提出先はハローワーク。

身体障害者を対象とする鹿児島県職員採用選考試験(案内)

【試験区分】一般事務、警察事務

【受験資格】

- ・身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳(1級～6級)の交付を受けていること。
・年齢は18歳～30歳(平成28年3月末現在)
※上記のほか、居住地などの要件があります。

【受付期間】9月11日(金)～9月30日(水)

※インターネットによる受験申し込みは、9月11日(金)～9月29日(火)

【第1次試験日】11月8日(日)

【試験地】鹿児島市

【その他】

試験案内および受験申込書は、9月1日(火)から県庁など県の機関で配布予定。なお、受験資格、申込書の配布場所など詳しくは、県ホームページをご覧ください。

鹿児島県人事委員会事務局
電話番号：099-286-3893・3894

九州ブロック身体障害者相談員研修会

～10年ぶりに鹿児島で開催～

この研修会は、今後は九州地区福祉大会と併せて開催しますので、相談員研修会としては最後になります。たくさんの参加をお願いします。

○日時：平成28年1月28日午後～1月29日午前

○場所：鹿児島サンロイヤルホテル(鹿児島市与次郎1丁目)

○参加予定人数：500名

- 主な内容：
・講演(厚生労働省) テーマ「障害者差別解消法の本格施行に向けて」(予定)
・講演(県内学識経験者) テーマ「相談者といかに向き合うか」(予定)
・事例発表(身障相談員3名)

※本県身障相談員には、9月ごろ大会案内と出欠確認を旅行業者から送付いたします。

行事予定

- 10月1日(木) 九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 長崎市
10月17日(土)～18日(日) 九州視覚障害者卓球大会 ハートピアかごしま
10月24日(土)～26日(月) 第15回全国障害者スポーツ大会 紀の国わかやま大会 和歌山県
11月6日(金) 九州身体障害者ゲートボール大会 北九州市
11月27日(金) 平成27年度鹿児島県保健福祉大会 かごしま県民交流センター
11月27日(金)～29日(日) 第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会 かごしま県民交流センター
11月29日(日) あったか交流フェスタ2015 ハートピアかごしま
12月4日(金)～6日(日) 県障がい者スポーツ指導員養成講習会 ハートピアかごしま
平成28年1月28日(木)～29日(金) 第23回九州ブロック身体障害者相談員研修会 鹿児島サンロイヤルホテル

